

請願・陳情等の受理状況について

平成30年7月20日

ア 全小・中学校のブロック塀や通学路、生活道路のブロック塀等の総点検をおこなない、改修のための財政措置を求める要望について

新日本婦人の会京都府本部

会長 森下 聡子

請	願	書	0	件
要	請	書	1	件
	計		1	件



報 告

全小・中学校のブロック塀や通学路、生活道路のブロック塀等の 総点検をおこない、改修のための財政措置を求める要望について

下記のとおり要望書の提出がありましたので、その概要について報告
します。

平成30年7月20日

教育長 橋本 幸三

記

1 要望書提出者

新日本婦人の会京都府本部 会長 森下 総子

2 要望書提出日

平成30年6月27日（水）

3 要望の概要

- (1) 京都府下、全小・中学校のブロック塀および学校の危険箇所の
総点検を学校まかせでなく、行政としておこない、至急、改修を
おこなうこと
- (2) 児童・生徒に、ブロック塀沿いを歩かないよう、指導、見守り
体制を徹底すること
- (3) 緊急に地震対策費などを予算化し、通学路、生活道路にあるブ
ロック塀を安全な塀に変更するための財政措置を講ずること

京都府知事 西脇 隆俊 様
京都府教育委員会御中

新日本婦人の会京都府本部
会長 森下 総



(住所) 京都市下京区新町七条下ル東塩小路町727
企業組合センターしんまち会館4階
(電話番号) 075 (342) 1552

全小・中学校のブロック塀や通学路、生活道路のブロック塀等の 総点検をおこない、改修のための財政措置を求めます

日頃より、京都府の教育環境拡充にご尽力いただき、深く感謝いたします。

私ども、国連NGO新日本婦人の会は、子どもの幸せをめざし、56年間教育環境改善などに地域で草の根からとりくんできました。

さて、6月18日発生した、大阪北部地震で大阪府高槻市の小学校のブロック塀が崩れ、登校中の小学校4年生の女児が下敷きになり犠牲になるという痛ましい事故が起きました。

問題のブロック塀は、法定基準2.2mをはるかに超える3.5mという高さで、鉄骨も不十分で、以前から「倒れてきそう」と懸念されていたとのことです。

学校の耐震化は校舎や体育館などの建築物が対象で、ブロック塀は含まれていません。今回の地震の余震も続く中、次の災害がいつ起こるか分かりません。子どもを預ける保護者、地域は不安でいっぱいです。

熊本県益城町では、ブロック塀258カ所中、鉄筋が入っていないなど基準を満たさない塀が230カ所に上り、うち175カ所が地震で倒壊しました。ブロック塀の危険は明らかであり、放置することはゆるされません。

宮城県では東日本大震災後、独自に小学校「スクールゾーン内コンクリートブロック塀」の実態調査を実施し、通学路の危険なブロック塀を84%減らしています。各自治体がブロック塀の撤去費用や助成金を出し、生垣に変えたところもあります。

府独自の予算措置も含め、直ちに対応していただきたくよう、強く要請します。

<申し入れ事項>

- 1、京都府下、全小・中学校のブロック塀および学校の危険個所の総点検を学校まかせでなく、行政としておこない、至急、改修をおこなってください
- 1、児童・生徒に、ブロック塀沿いを歩かないよう、指導、見守り体制を徹底してください
- 1、緊急に地震対策費などを予算化し、通学路、生活道路にあるブロック塀を安全な塀に変更するための財政措置を求めます